

第2章 阿佐海岸鉄道

第1節 6日目：3月17日（月）：甲浦～阿波海南 快晴

2025年3月17日（月）快晴、高知・徳島の旅の六日目は、阿佐海岸鉄道の甲浦駅から阿波海南駅までの10.0kmに挑戦する。高知東部交通の法恩寺通バス停6時56分の始発で海の駅東洋町バス停まで移動する。途中、室戸世界ジオパークセンターバス停で別のバスに乗り換える。ただし、運転手は同じ方であった。乗り換え時間に5分位の余裕があった。運賃はそれぞれ精算する必要があった。平日でもあり、法恩寺通バス停から海の駅東洋町バス停まで乗客は概ね私を含め2名であった。単独の区間もあった。海の駅東洋町には8時51分到着。沢山の方が室戸方面に向かうバスを待っていた。そして、徒歩で甲浦駅まで向かい。本日の歩きとなる。



※ホテル界隈の法恩寺通バス停





※法恩寺通バス停から室戸世界ジオパークセンターバス停へ



※室戸世界ジオパークセンターバス停から道の駅東洋町バス停へ

本日の各駅舎立ち寄り時刻は次の通り。

道の駅東洋町バス停(8:51)～甲浦（かんのうら、9:32）～宍喰（ししくい、11:03）～海部（かいふ、13:40）～阿波海南(14:07)

①地図で概略は勉強していたが、念のため駐在所に立ち寄り、甲浦駅の道筋をお伺いする。「神社がある通りまで進み、川に沿った道筋を歩いた先にあります」と教えて頂く。9時10分、五社神社がある。左手に川が見える。この川に沿って歩いた先に甲浦駅（9時32分）があった。暫くこの駅に立ち止まり、種々のアングルからデジカメに収める。そして穴喰駅に向かって出発する。



※甲浦駅への路



②くねくねした甲浦の街並みの路地を歩く。9時56分、甲ノ浦西バス停前（南武バス）を通過。10時16分、国道55号線に出るや否や高知県東洋町から徳島県海陽町となる。その先で638mある水床トンネルがあった。10時45分より万歩計で112歩あるかもめ橋（穴喰川）を渡る。川に沿って歩いた先に穴喰駅（11時3分）があった。この駅には駅員さんがいた。この駅でも暫く滞在し、種々のアングルからデジカメに収める。駅前の歩道には、北斗七星、オリオン座。土星をデッサンした画像があった。



※くねくねした路地を歩く



※かもめ橋



※穴喰駅



※穴喰駅



※駅前の歩道

③11時29分、国道55号線に合流する。11時30分、3匹の犬から「ワンワン～ワンワン」と呼び止められる。11時40分、タイミングよくうどん”愛”があったのでランチとする。ネットでは阿佐海岸鉄道は阿佐東線となっていた。11時56分、線路下を潜り、鉄道の左側となる。12時2分、徳島まで87kmと記した標識前を通過。12時11分、道路に沿って右手には線路があった。12時15分、線路下を潜り鉄道も右側となる。12時32分、23番札所薬王寺まで46km、24番札所最御崎寺まで44kmの遍路標識があった。12時33分、那佐バス停前（南部バス）を通過。12時40分、24番札所に向かうイスラエル人のご夫婦のお遍路さんと対面する。12時42分、徳島85km、美波32kmの道路標識前を通過。12時45分、自転車に乗った外国人のお遍路さんと対面する。12時49分、左手には高架した鉄道があった。12時55分、那佐中バス停前を通過。13時10分、小阿佐バス停前を通過。13時11分、日本人2名と外国人2名のお遍路と対面する。13時20分、24番札所47km、23番札所43kmと記した遍路標識前を通過。この界隈に”さんの峠地蔵”があった。海部駅には13時40分到着。廃線になる前の列車があった。この駅でも暫く滞在し、感動した場面をデジカメに収める。



※久しぶりのランチタイム



※海部駅への路





※海部駅

④13 時 50 分、徳島 82 km、美波（日和佐）29 kmと記した標識前を通過。その先で 570 歩ある海部大橋を渡る。阿波海南駅には 14 時 7 分到着。万歩計は 27,907 歩だった。





※阿波海南駅への路



※阿波海南駅

⑤運よく、14 時 8 分発の徳島行きに間に合う。因みに次の列車は 16 時 8 分であった。牟岐線は 2 年前の 3 月に歩いたので、沿線の風景を懐かしみながら 2 時間の旅を楽しむ。徳島駅には 16 時 12 分到着。ホテルには 16 時 41 分に到着。汗を流し大相撲観戦後、徳島ラーメンを頂き、ホテルで四国一周完成の祝杯をあげ、就寝となる。充実した一日であった。



※徳島駅への路



※2年振りに徳島駅、東横イン徳島へ



※徳島ラーメンを食べ、水戸黄門（若きあべ静江登場）を見ながら乾きもので祝杯！！

第2節 7日目：3月18日（火）：17番札所～13番札所 快晴

2025年3月18日（火）快晴、高知・徳島の旅の七日目は、四国八十八ヵ所巡りのうち、17番札所から13番札所まで5ヵ所の霊場に挑戦する。



※徳島駅から府中駅まで移動

本日の各札所立ち寄り巡りの時刻は次の通り。

府中駅(7:48)～17番札所井戸寺(8:50)～16番札所観音寺(9:45)～15番札所国分寺(10:23)～14番札所常楽寺(10:47)～13番札大日寺(11:55)～府中駅(14:22)

1. 17番札所井戸寺巡り…再度母親の御霊に参拝

地図を読み間違え、誤って反対方向の16番札所の方角に進もうとする。地元在住の森山さんにリカバリーして頂くと同時に17番札所界限まで案内頂く。加えて、30分位道中世間話をしながら歩く機会を得る。



2. 16 番札所観音寺巡り…親類三枝家先祖の御霊に参拝



※16 番札所への路





※16 番札所観音寺

3. 15 番札所国分寺巡り…親類国分家先祖の御霊に参拝





※15 番札所への路



※15 番札所国分寺

4. 14 番札所常楽寺巡り…樫原家繁栄を願って参拝



※14 番札所への路





※14 番札所常楽寺

5. 13 番札大日寺巡り…樫原家先祖の御霊に参拝

途中路に迷う場面もあったが、ナビにて脱出できる。鮎喰川（あくい）までの行程が大変であった。



※13 番札所への路(11 時 27 分鮎喰川を渡る)



※13 番札所大日寺



※一宮神社



※一宮城跡

6. 府中駅への路

帰りの道筋は、JR 府中駅を目指し、”最初の鉄道つたい歩き”のように筋書きのないドラマを気ままに歩く。25 年振りに楽しい記憶が蘇る。国道 192 号線から国分寺も見えて来る。楽しい 2 時間半の行程であった。





※遠くに国分寺 (13 時)



※お遍路ボランティア川添さんと千葉在住の宇野さんに出会う (13 時 17 分)



※大御和神社参拝 (14 時)



※府中駅（14 時 22 分）

7. 祝杯

汗を流した後、18 時 12 分より、ホテル界隈の魚家で祝杯をあげる。



※列車で徳島駅へ、お土産購入



※ホテル界隈のフコク生命徳島支社を撮影(15 時 51 分)



※魚家で今回の旅の締め！！